

のびるよ そだつよ

国立市立国立第五小学校 研究便り

校長 向井 美紀

NO. 2 令和元年6月14日

(編集：国立第五小学校 研究部)

この「のびるよ そだつよ」は、本校が進めている研究活動を保護者の皆様にご紹介するための研究便りです。研究内容や公開授業の日程、子供たちの様子等をお知らせしていきます。なお、研究授業はいつでも公開しています。お時間のある時、お子さんの学年でなくても名札をご持参の上、お気軽にご参観ください。

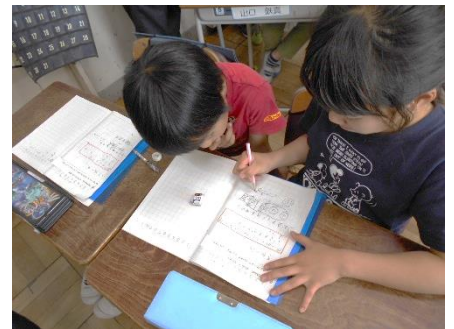
2年生 ひき算のしかたを考えよう

5月15日（水）

2年生の研究授業では、くり下がりのある筆算の学習をしました。1年生で学習した計算でも、これまでに2年生で学習してきた繰り下がりのない筆算でもない計算について、「今までの学習と、どこが違うのだろう？」と



いうところから考えていきました。これまでの学習を生かして、ブロックや図、位ごとに分けて式に表わすやり方など、様々な方法を考えていました。また、自分の考えたやり方を友達に紹介し共有する時間では、ブロックや自分の書いたノートを使い、友達の目の前で実演したり、指さしたりして、一生懸命説明をする様子が見られました。今後も、子どもたちが自分の考えを持ち、友達と伝え合って、自分たちで課題を解決していく授業の充実を進めていきます。



研究授業の見どころ

5年1組「変わり方を調べよう」

6月19日（水）午後1：20～ 体育館

5年生は、比例関係を中心に2つの数量がどのように変化していくのか考えます。4年生の時は四角形が増えていく時の辺の数の変化などについて表に表したり、式に表したりしてきました。5年生では、比例関係について理解を深め、式に表すとともに、6年生での反比例やグラフ化の学習につなげていきます。

本時では、表に数値を当てはめることで、一方が〇倍になったら、もう一方も〇倍になる比例の規則性に気付くことができるようにしたり、比例定数となる1当たりの変化量に着目して式に表したりします。また、表に書き込んだ数値の変化を基に比例かどうか見分けることができるようにしたいと考えています。

本時は、「授業研究イメージネーションプログラム」として、米国から約35名の教育関係者の参観があります。保護者の皆様も、ぜひ参観に来ていただけたらと思います。